



# い ま 子どもたちの現在・未来 ～子どもは社会の宝物～

## 講演会

講師 清川 輝基 さん

参加費  
無料



### 《プロフィール》

NPO 法人子どもとメディア代表理事/日本小児科医会「子どもとメディア委員会」特別委員

1964年東京大学教育学部教育行政学科卒業。同年NHKに入局。社会報道番組ディレクターとして「ニュースセンター9時」などを担当。報道局次長、NHK長野放送局長、NHK放送文化研究所研究主幹などを歴任。

NPO法人チャイルドライン支援センター初代代表理事  
通信制「さくら国際高等学校」校長



NPO 法人ひろしまチャイルドライン子どもステーションでは、電話やオンラインチャットなどを使った心の居場所を作る活動を始めてから20年を超えました。

また、今年度アドボカシー事業として、子ども達と直接会って、気持ちを聴き、代弁者となるアドボケート活動を新たにスタートさせました。

アドボカシー、アドボケートは耳慣れない言葉で、まだまだ馴染みの薄い活動です。東広島の方々にどのような活動なのかを知っていただきたいと願っています。講師の清川輝基さんには、地域・社会で子ども達を育てていく大切さについて、講演していただきます。虐待や自死、いじめなど子ども達に関わる辛い事件が報道されます。親など近い保護者ではなくとも、地域の大人として子ども達が幸せに育つ地域・社会をどのように作って いけるのか、「今」、私たちができるヒントを見つけられるお話です。ご期待ください。

日時

2023年

3月18日(土) 14:00~17:00

定員  
70人

会場

広島大学フェニックス国際センター(ミライクリエ) 大会議室  
(会場案内図は裏面をごらんください)

後援 広島県・東広島市教育委員会

主催・お問い合わせ NPO 法人ひろしまチャイルドライン子どもステーション

TEL/FAX 082-233-8655

事務局携帯 090-7998-6113

E-mail [hiroshima-childline@fine.ocn.ne.jp](mailto:hiroshima-childline@fine.ocn.ne.jp)

会場または Zoom での  
参加申し込みは  
こちらの QR コードから



## 《新型コロナウイルス感染拡大防止対策の協力のお願い》

- 当日は検温をして来場ください。(37.5℃以上の方及び体調不良の方はご遠慮ください)
- 来場の際は感染予防のためにマスクの着用をお願いします。
- 入・退場時にはソーシャルディスタンスの確保をお願いします。
- 会場入り口に消毒液を設置しておりますのでご利用ください。
- 座席については自由席ですが、スタッフが案内する場合があります。
- 会場内で体調の異変を感じた場合、近くのスタッフにお声かけください。



## 《会場案内》

広島大学フェニックス国際センター(ミライクリエ) 2階 大会議室  
(東広島市鏡山一丁目 4-5 東広島キャンパス南側)



- バス停
- 自動車入構ゲート
- 学内道路
- 一般道

ミライクリエ

駐車

- ※ 車でお越しの方は      の駐車場をご利用ください。
- ※ バスをご利用の方は、「大学会館前」で下車してください。



NPO 法人ひろしまチャイルドライン子どもステーション  
〒730-0013 広島市中区八丁堀 7-11 広島 YMCA 気付  
ホームページ

ひろしまチャイルドライン

# 子どもたちの現在・未来 ～子どもは社会の宝物～



## 講師 清川輝基 さん

《プロフィール》

NPO 法人子どもとメディア代表理事

日本小児科医会「子どもとメディア委員会」特別委員

NHK 社会報道番組ディレクターとして「ニュースセンター9時」などを担当

NPO 法人チャイルドライン支援センター初代代表理事

通信制高校「さくら国際高等学校」校長

参加費  
無料

定員 50人



NPO 法人ひろしまチャイルドライン子どもステーションでは、電話やオンラインチャットなどを使った心の居場所を作る活動を始めてから20年を超えました。

また、今年度アドボカシー事業として、子ども達と直接会って、気持ちを聴き、代弁者となるアドボケイト活動を新たにスタートさせました。



アドボカシー、アドボケイトという耳慣れない言葉で、まだまだ馴染みの薄い活動です。広島県東部地域の方々にどのような活動なのかを、まずは知っていただきたいです。

講師の清川輝基さんには、地域・社会で子ども達を育てていく大切さについて、講演していただきます。虐待や自死、いじめなど子ども達に関わる辛い事件が報道されます。親など近い保護者ではなくとも、地域の大人として子ども達が幸せに育つ地域・社会をどのように作っていいのか、「今」、私たちができるヒントを見つけられるお話です。ご期待ください。

日時

2023年

3月19日(日)10:00~13:00

会場

福山すこやかセンター 多目的ホール

(住所：福山市 三吉町南2丁目11-22)

後援 広島県 ・ 福山市 (予定)

主催・お問合せ NPO 法人ひろしまチャイルドライン子どもステーション

TEL/FAX 082-233-8655 事務局携帯 090-7998-6113

HP <http://www.hiroshima-childline.or.jp>

☆お申し込みはお電話もしくはQRコードをご利用ください



ひろしまチャイルドラインは、2000年3月から、福山分室としては2005年に初めての電話を受信し、子どもの声を聴き続けています。友だち関係、いじめ、虐待、性の悩み、あるいは話し相手としてチャイルドラインは多様な子どもの声に寄り添い、受け止めてきました。

チャイルドラインは子どもの声に耳を傾け、子どもの気持ちをありのままに受け止め、共感することによって、子どもの心を開放し、自立を支えることを目的とします。

北ヨーロッパで1970年代半ばに始まったチャイルドラインの活動は、アジアやアフリカ地域でも開設され、世界145か国で必須の社会システムとして位置づけられています。

また、今年度アドボカシー事業として、子ども達と直接会って、気持ちを聴き、代弁者となるアドボケイト活動を新たにスタートさせました。

子どもはどんなに小さくても自分のことをよく知り、自分らしく生きていこうとしています。子ども自身の意見(意見表明)思いを、私たちアドボケイトは丁寧に受け止めます。そして困っている子どもがいたら、その気持ちを聴き、子どもが自分で伝えられるようお手伝いをします。また、子どもが望めば子どもに代わってまわりのおとなに伝えることもします。

チャイルドライン事業とアドボカシー事業の、どちらの事業も、子どもはひとり一人が尊重される人格を持つ、共に社会を作っていく存在であるという「子ども観」を大切にしています。

